

○本木忠一委員長 決算特別委員会を再開いたします。

休憩前に引き続き、総括質疑を継続します。

無所属の会の質疑を行います。

なお、質疑時間は答弁を含めて五分です。菅間進委員。

○菅間進委員 美術館費についてお尋ねいたします。

昨年度はコロナ禍の中で企画展も実施、ただし、福島県沖地震の影響もあつたようで、常設展は一昨年に比べると二割減となっています。企画展ははじめ美術館事業の令和三年度の評価について、お聞かせください。

○伊東昭代教育委員会教育長 令和三年二月及び令和四年三月に発生した福島県沖地震の影響により、臨時休館を余儀なくされたところでございますが、企画展は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、当初の計画どおり五つの企画展を開催することができ、国内外の優れた美術作品の鑑賞機会の提供を図ることができました。決算年度の前年度と比べますと観覧者数が減少しておりますが、これは東日本大震災から十年目となる令和二年度に、東日本大震災復興祈念として大きな企画展を開催し、観覧者数が増加したことが影響しているものと考えております。また、教育普及事業も中止を余儀なくされたものもございましたが、前年度よりも多くの方に利用していただき、コロナ禍においても、県民の皆様の美術に関する様々な体験や交流の場を設けることができたものと考えております。

○菅間進委員 今年度も半年経過していますが、やはり来年度着工のリニューアル工事について、昨年度から今年度、計画どおり進んでいるかが気になるところです。その確認と、五月臨時会で質疑した工事期間中のリニューアルに向けたPRについての検討は美術館と始めたのか、お尋ねいたします。

○伊東昭代教育委員会教育長 令和三年十月から美術館リニューアル改修設計業務に着手いたしました、今年八月に基本設計がまとまったところでございます。令和五年三月までには実施設計を完了する予定で、美術館と共にリニューアル基本方針を尊重した設計作業を進めておりまして、現在まで当初の予定どおり進捗しております。また、休館中の広報、情報発信につきましては、美術館と検討しているところでございますが、休館中に実施される美術館の事業や工事の進捗状況などについて、ホームページやツイッ

ターのほか、印刷物の発行等を通じまして、県民の皆様に関しめやすく伝える工夫を凝らし、美術館への興味を持っていただけるように努めていきたいと考えております。

○菅間進委員 工事期間による休館中に県美術館へ足を運ばせる手だて、関心を持ってもらう仕掛け等は、創作活動にも関わる県民の参加、声も大事かと思えます。また、オープン記念の事業などの仕掛けも必要かと思えます。美術館と違いますが、同じ前川建築の埼玉会館では、休館となる前に前川建築セミナー&ミニコンサートを開催、オープン後も引き続き、建築セミナーやミニコンサートのドッキングを合わせ、九回ほど実施しています。今から準備しないと、令和七年度中のリニューアルオープンであれば二、三年というのはあつという間にたってしまうわけでありまして、知事の所見をお聞かせいただきたいと思えます。

○村井嘉浩知事 これまで、美術館での美術講座やワークショップ、児童・生徒向けの美術探検などの取組は、主に館内で行ってまいりましたが、休館中はアウトリーチでの実施を計画し、県内各地域での展開を図っていくことを考えております。休館中でありましても、このような美術館の取組に広く県民の皆様に参加していただくことは、非常に大事だと考えております。また、リニューアルオープン時の記念事業につきましても、準備期間は限られていると認識しているところでございまして、その準備を着実に進めていきたいと思っております。現在、教育長の下でいろいろ検討いただいているところでありますので、それにつきましては、知事部局としてもしっかりサポートしてまいりたいと考えております。

○菅間進委員 ありがとうございます。終わります。